

6 楽しくにぎやかに交流するまちづくり



シースポの北側に建設予定のマリンスポーツセンター

マリンスポーツセンター・マリンスポーツ用具保管庫整備事業 (4,100万円)

マリンスポーツの普及や拠点施設として、夜須町手結(旧海水浴場)へマリンスポーツセンターと併せて用具保管施設を整備します。

赤岡市民館建設事業(3億8,330万円)

昭和45年建築で老朽化が激しく耐震性もない施設のため、避難所を備えた社会福祉施設として新築します。

7 自律した協働のまちづくり

市民参加のまちづくり事業(817万円)

市民主役のまちづくり支援事業(300万円)

地域づくり推進事業(500万円)

市民自らがまちづくりを考え、自主的に活動に取り組む自治会や団体、地域を支援していきます。

補助申請の募集内容などを今月号8~9ページで詳しくお知らせしています。

合併振興基金造成事業(2億8,000万円)

合併に伴う市民の一体感の造成および地域振興を図るため、合併特例債をもとに平成25年度までの7年間で、基金(預金)として27億3,828万円積み立てる予定です。

公的資金補償金免除繰上償還(6億8,604万円)

地方債(借金)のうち金利5%以上の高金利の借金を、基金を取り崩して補償金免除の繰上償還を行います。



19年度に住民主役のまちづくり支援事業を活用してつくったチューリップ畑



財政課長のワンポイント!

新制度による健全基準

20年度の決算から財政健全化法が適用され、再建基準(破産状態を見極める基準)が財政再生基準(タ張市のように破産した状態)と早期健全化基準(現状を早期に改善しなければ破産する状態)に区分されます。この基準の判断指標として、特に注意すべき指標は「実質公債費比率」です。これは、借金の返済額と自主財源の割合を3年平均で示したもので、25%以上になると早期健全化団体となります。そうなる国からの指導を受け、公共料金の値上げや、市道整備の見直しができなくなるなど、住民サービスに大きく支障を来します。市では、そのようなことにならないように建設事業の見直しなどを行い、借金の返済を優先しました。現在の計画では、実質公債費比率は21年度の20.8%をピークに減少する見込みとなっています。

4 安心安全で快適なまちづくり



合併前に旧町村が作成した防災マップ

防災マップ作成委託料(304万円)

津波浸水予想地域や風水害による避難地を示した防災マップを作成し、全戸配布します。

公共施設家具転倒防止金具設置事業(200万円)

保育所・幼稚園・ふれあいセンターなど公共施設のピアノや本棚類へ転倒防止金具を取り付けます。

香南ケーブルテレビ高度利用化事業(12億1,346万円)

地上デジタル放送の移行に伴い、香南ケーブルテレビの同軸ケーブルを光ケーブルに張り替えます。また、災害に備え市内の浸水予想個所に防災カメラを設置し、情報を伝達します。



ケーブルの張り替え作業

市道整備(3億2,059万円)

橋梁耐震調査業務委託(1,000万円)

市道橋梁の耐震調査を実施します。今年度の調査予定橋脚数は100橋。

5 豊かな心を育むひとづくり

赤岡中学校プール改修工事(8,042万円)

コンクリート槽からステンレス槽に改造します。また、プール全体をバリアフリー化し、トイレ・更衣室を併せて整備します。

香南市小学生よさこい参加補助金(200万円)

市内の子どもたちの交流と一体感を目指すと共に、保護者や地域の繋がりを強化するため「よさこい祭り」に「香南市子どもよさこい踊り子隊」として参加し、元気な香南市をアピールします。

夜須小学校屋外運動場改修事業(2,520万円)

風雨による運動場の劣化や排水性の不具合を解消するため運動場の全面改修を行います。



排水パイプがむき出しになっている夜須小学校グラウンド